

## 「くすり教育」研修会報告

平成 23 年 7 月 3 日(日) 千葉県薬剤師会の会議室にて第 2 回学校薬剤師会研修会が開催されました。参加者は約 100 名と盛況な会となりました。要約を下記に記載します。

### 1. 「薬の正しい使い方教育～その原点と今後～」

帝京大学実務実習センター

准教授 齊藤 百枝美先生

今、日本では、一般生活者が医薬品の特性について理解不足であり、個々の健康維持の低下や医療費の増大を引き起こしている。フランスにおける「子供のくすり教育」を視てこられた齊藤先生が、いかに青少年からの薬に関する教育が大切であることをわかりやすく講義され、また、ご自分が作成されたくすり教育の教材・手法を紹介された。今後のセルフメディケーションを目指す日本のくすり教育の道標となる講演であった。



### 2. 「くすり教育 DVD（千葉県学校薬剤師会 ver.）解説」千葉県学校薬剤師会

副会長 金親 肇

平成 24 年度から中学校における薬教育が授業のカリキュラムに組み込まれることになり、千葉県学校薬剤師会バージョンの DVD を作成している。まだ、未完成のものだが、一応参加者には小学生版くすり教育の DVD を配り、パワーポイントを使っての講義の解説をおこなった。今年度中には小・中・高校生用の千葉県版くすり教育の DVD をそれぞれ完成予定。

### 3 「千葉県における放射能の対応について」

千葉県教育庁教育振興部学校安全保険課

主査 須永 裕貴先生

3 月の東日本震災による福島原発の事故から各地で放射線被曝の問題がとりざたされている。千葉県においても県立校に対して水道水、校庭の土壌の放射線量、プール水の放射線量が懸念されている。千葉県においてはまず水道水について検査をし、基準値以下で問題ないという結果がでた。また放射線の測定器を購入し各県立校の土壌の放射線量を測定し、いずれも国の基準値以下の値を確認した。とりわけプール水においてはその汚染源として①プールに沈んでいる沈殿物、②水源の水道水、③雨水、が考えられるが、測定の結果いずれも問題なく、雨水においても 3 月 21 日以降は放射線量が低くなっており国の基準値以下であった。結果は県のホームページにも掲載されている。また、今後放射線の測定器の購入増加があれば、定期的に測定する予定である。

また、各小・中学校においては各市町村においての対応で、各自治体のホームページなどを参照されたい。

#### 4. 「環境放射線モニタの使用方法について 解説」 リオンテック株式会社

千葉県も被災地であるので、日本学校薬剤師会より放射線測定器2台を購入して頂ける事になった。機種はHORIBAの環境放射線モニタRadi PA-1,000微弱なγ線を簡単に精度よく測定できる。生憎、測定器は現在、在庫不足の為、納品待ちの状態で見ることができなかったが、その使用方法等を解説した。

納品後は千葉県学校薬剤師会にて貸出しする予定。

#### 5. 新任学校薬剤師説明会「学校環境衛生基準の解説」 千葉県学校薬剤師会 副会長 小西 弘晃

新任の学校薬剤師の方々を対象に「学校環境衛生基準の解説」を簡潔にしかも細部にわたり解説した。学校保健安全法に基づき平成21年4月より新しい学校環境衛生基準が施行され、それに伴い各環境検査項目の基準値は守るべき値として規定された。千葉県学校薬剤師会においても、新たに『学校環境衛生のしおり』を作成し、各学校薬剤師の方々、や各学校職員にも活用していただくことを希望している。今回、新任の学校薬剤師の方々ばかりでなく、以前から従事されている学校薬剤師の方々も多く熱心に聴講されていた。

